

テーマ

コマーシャルづくりでふるさと再発見！
～住民目線の CM 投稿グランプリ開催～

事業実施地区（中学校区名）	松江市立宍道中学校
事業実施公民館等名 （中学校区内にある全ての公民館等）	松江市宍道公民館

テーマの背景

平成 26 年に第 23 回しまね映画祭イベント-しまね映画塾 2014in 宍道が松江市宍道町で開催された。これは撮影場所が宍道町内で 3 日間で短編映画をつくるというものだ。地域の方も出演されたり、スタッフなどで協力いただき、宍道を題材にした映画が完成した。また現代、スマホの普及によりだれでも簡単に動画が撮影できる環境となり、若者の間では YouTube への投稿など楽しむ世界も広がっている。しかし、内容に倫理的問題がある画像やプライバシーの侵害問題も出てきていることも事実である。

こうした背景の中、若者の持つ得意分野を生かしつつまちづくりを進め、大人も理解できる宍道町の CM をたくさん制作し、様々な機会で開催できる環境を構築することで地域活性化と地域の方の笑顔でいっぱいになるまちづくりにつなげようと考えた。また、少子・高齢化、人口減少問題についても人口の社会減対策に寄与する取り組みとして、若者が帰れるまちづくりを考えた。

実際の取組

⑤ ふるさとの「ひと・もの・こと」を次世代に伝え、守っていく活動の実施

事業名：宍道 CM 動画コンテスト

<取組の概要>

宍道町を題材に撮影した「こと・ひと・もの」を題材にした 15 秒の笑える？胸を打つ？

CM 動画コンテストの開催

スケジュール

日程	内容	備考
3 月	実行委員会立上げ	町内の若い人の参加
6 月	募集チラシの作成	若い感性で制作
6 月	募集チラシの配布	宍道町内全戸に配布
7 月	動画制作ワークショップ開催	撮影方法・編集方法の習得
10 月	動画募集締め切り	
11 月	上映会および審査会開催	参加者・製作者で審査(総数 88)
12 月	DVD 制作	第 1 回宍道 CM 投稿グランプリ



チラシの作成↑

<取組の概要>

1 動画制作ワークショップの様子

今回のコンテストに際し、動画撮影・編集方法の勉強会を開催した。細かい技術はさて置き、「作ってみたい!」「参加してみたい!」という思いを強く持ってもらうことを一番に考えたワークショップとなった。

出雲コアカレッジの先生やパソコン教室のインストラクターさんをお願いした。講習生は実際に撮影しながら熱心に聞いておられた。最後にドローンによる撮影も実践していただいた。

2 コンテスト(上映会)の様子

今回の応募作品は17点集まった。

- ・宍道町 CM 4本
- ・環境問題・募集 CM 2本
- ・観光・施設・商店 CM 8本
- ・公共マナーCM 2本
- ・コミュニケーション 1本



3 第1回宍道CM投稿グランプリDVD制作

今回投稿のあったCMをすべて収めたDVDを制作し広く地域の皆様に見ていただけるようにした。

<成果と課題>

【成果】

1 宍道町の新たな発見と地域活性化につながった。

毎日目にしていない風景でも、カメラを通してみるとすばらしくきれいな場所に見えたりする。そこにはふるさとを誇りに思える景色とその中で暮らしている人々の顔が見え隠れし、改めてふるさとのすばらしさを感じられた。

2 青少年の参加

今回は数は少ないが撮影スタッフとして高校生や中学生の参加もあった。また、出演側にも高校生や小学生の参加もあり、若い感性の高さに感心させられる作品が多くあった。

【課題】

1 高校生や中学生の参加が少ない。夏休みの課題などに合わせることを検討する。

2 CMを流せる場所を多くし、広く住民の方に見て頂く。(観光協会・JR等と連携)

まとめ

テーマに迫るためのポイント

- 1 若者目線で見たまちの宝を再発見するため、若者の得意分野を利用し、若者の感性と行動力でまちづくりを行える。
- 2 映像記憶をたどれるまち歩き事業とコラボすると新たな発見が促進される。
- 3 地域の方への視聴の場所と機会を増やす必要がある。

今後の展望

毎年継続することで宍道町のCMが年々増えてゆき、ふるさとのすばらしさを感じ、ふるさと再発見につなげる。商工会や観光協会、学校に働きかけ、たくさんの方に見ていただけるよう、また、制作参加いただけるよう進めて行く。また、倫理面や、著作権の研修も交えて進めて行く。